

第8回総会を開催

キャラバン営業など普及推進

栃木県防草ブロック工業会

栃木県防草ブロック工業会 総会で挨拶した舟田会長
 会(TWBA)・会長川舟田は「栃木県防草ブロック工業会も反響が大きく、今
 詔文氏」は11月26日、ホテ 業会は発足から8年目を迎
 ルマイステイズ宇都宮(栃 えた。今年度より新規加入
 木県宇都宮市)で第8回総 社の八幸製作所を迎えて10
 会を開催した。 体制となる。9月から10



杉山新会長

月にかけて行ったキャラバ 業は発足から8年目を迎
 後の実績に期待している。
 引き続き皆さんの協力を得
 て、当工業会の発展と防草
 プロジェクトの普及を図って参
 りたい」と述べた。

総会では第7回事業報告
 ・収支決算報告と第8回事
 業計画・予算案などを審議
 し原案通り可決承認した。
 前期の活動は8回に及ぶ
 営業技術会議を開催した
 他、日本雑草学会第63回
 都宮大会(3月)、栃木県
 都宮大会(3月)、栃木県
 行ポスター掲載(4月)25
 年3月)、雑草問題解決プ
 ロジェクト・現地ワークシ
 ョップ(7月)、宇都宮大
 学コラボレーションフェア
 出展(9月)、栃木県土整
 備部へのキャラバン営業
 (9月)10月)を行った。
 今期は総会(11月)の他、

役員会(年2回)と営業技
 術部会(毎月)、栃木県庁
 ポスター掲載、HP更新、
 宇都宮大学フィールド試験
 現場検証、可視化実験のイ
 ベント化、栃木県土整備部
 へのキャラバン営業など、
 引き続き防草プロジェクトの積
 極的なPR活動を展開す
 りたい」と挨拶した。

官民連携による、まちづくり

前橋市と共催イベント開く

インフラメンテナン

インフラメンテナンス国 ユーアルプロジェクトにお
 民会議関東地方フォーラム ける、まちづくりの維持管
 は11月27日、前橋プラザ元 理について意見交換を行っ
 気21(群馬県前橋市)で前 した。

橋市との共催によるフォー プログラムは2部構成
 ラムイベント「自治体のイ で、第一部では新技術紹介
 ンフラ維持管理効率化に向 として、雑草抑制技術▽
 けた取り組み・官民連携に 草の根バスター・都市環境
 よるまちづくりの実践から 美化▽目地張りシート、強
 のインフラ維持管理」を開 壮目地シート・白崎コーポ
 催し、インフラ維持管理の レーション▽目地処理材イ
 効率的化・課題解決に向けた カスミ・小泉製麻▽草ゼロ
 連携・取り組みの発表や、 プレート・早川ゴム、小
 前橋市・馬場川通りのリニ 規模橋梁における補修技術



馬場川通り約200mがレンガとベンチのリラックス空間に

012年に発生した笹子ト ンネルの事故以来、同社で
 はインフラ整備や老朽化対
 策を通じた社会貢献を事業
 活動の大きなテーマに掲げ
 ている。
 企画委員・代表幹事を務
 める同社の柳澤正和氏は、
 「前橋市の市街地中心部を
 流れる馬場川と広瀬川は、
 『水と緑の街、前橋』の象
 徴だ。馬場川通りや広瀬川
 河畔では、まちなかの整備
 が徐々に進められている。
 大きな賑わいにまではなっ
 ていないが、周辺には立ち
 寄りやすい場所や店が増え、
 特に馬場川通りでは、街の
 雰囲気が変わりつつあるこ
 とが実感できる。通り沿い
 では2021年から進めら
 れてきた工事が完了して、
 レンガ敷の空間が生まれ
 た。川沿いには200メー
 トルにわたりデッキとベン
 チが設置され、水と緑に囲
 まれながらリラックスでき
 る場所となっている。整備
 をするための資金の調達方
 法や運営方法なども含め
 て、前橋市が打ち出した『め
 ぐく』というビジョンが
 市民に受け入れつつあると
 感じている。今後もフォー
 ラムの企画・運営を進め、
 インフラメンテナンスや、
 まちづくりに貢献していき
 たい」と話している。

前橋市・馬場川通りの再開
 発プロジェクトは、同市が
 2019年に策定した中心
 市街地のまちづくり指針
 「前橋市アーバンデザイン」
 を具体化した事業。民間資
 金を民間事業により馬場川
 通りをリニューアルするプ
 ロジェクトで、市民参加に
 による道路点検DXシステ
 ム(▽グローバルアイズ・
 ニチレキグループ)のほか、
 前橋市における雑草抑制対
 策や橋梁維持管理手法の発
 力を得て事業を展開してい
 る。